

## 経済学(第10週) 第3章 貨幣と金融取引[2-1]

小テスト実施のため第11週に変更

### 前回の確認とキーワード

#### 貨幣需要と債券需要

- ・ 証券の利益を構成する2つの要素
  - ・ 人々が貨幣を保有する3つの動機
- ワルラス法則

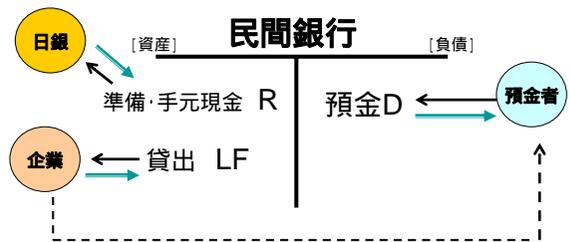
#### 利子率と債券価格の関係

#### ケインズの「流動性選好関数」

#### 低金利下における「流動性のわな」

1

## 3-3-1 法定準備制度

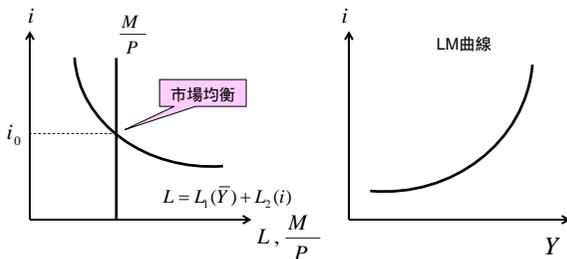


- ・ 民間銀行は、準備金(日銀当座預金)を、預金の一定比率(法定準備率)以上保有することが義務付けられている

4

## 3-2-2 貨幣市場の均衡 / 3-2-3 LM曲線

$$\frac{M}{P} = L_1(Y) + L_2(i)$$



2

## 3-3-1 中央銀行(Central Bank)

現実に流通する通貨(Currency)は、現金通貨と預金通貨(要求払預金)の和からなる。

銀行預金は、銀行の貸し出し(信用創造)により経済の内部で生み出され、また預金を用いて日々の決済が行われている。

したがって、個々の銀行を監督し、決済システムや通貨価値の安定を維持する中央機関が必要であり、各国に通貨当局(中央銀行)が設置されている。

「管理通貨制度」

5

## 3-3 金融政策

### 3-3-1 銀行の基本業務

- 預金業務
- 貸出業務
- 決済(為替)業務

商業銀行(普通銀行): 都銀・地銀・第二地銀  
預金取扱い金融機関  
(銀行、信金・信組・農・漁協、労働金庫など)

3

## 中央銀行の主要機能

- 発券銀行(造幣権)
  - ・・・現金通貨の発行ならびに管理・調節
- 政府の銀行(国庫)
  - ・・・対政府信用, 国債引受け
- 銀行の銀行
  - ・・・決済システムを基礎から支える
  - 最後の貸し手(Lender of Last Resort)機能
- 外貨準備の管理

6

## 日銀当座預金 (日銀当預) の役割

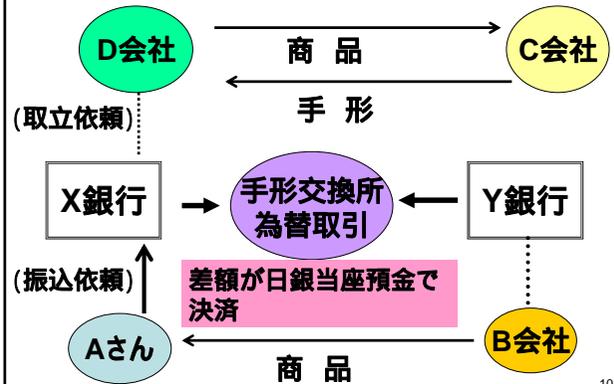
日本銀行当座預金とは、銀行(やその他金融機関)が日本銀行に保有している当座預金(出し入れが自由な無利率の預金)のこと。

銀行は個人や企業の現金引き出しに応じ、**日銀当預の形で準備を保有**することを義務付けられている。

日銀当預はまた、銀行同士が他の金融機関や日本銀行、あるいは国と取引を行う場合の**決済手段**として利用される。日銀の金融政策の手段として、重要な役割をもつ。

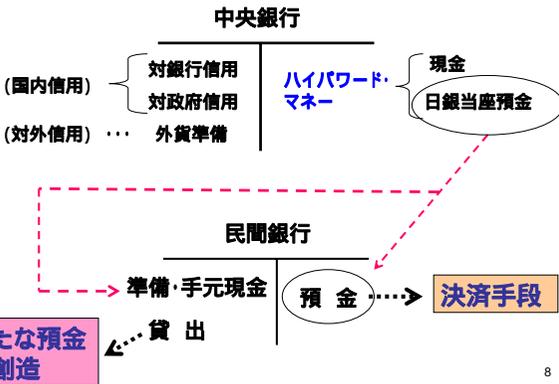
7

## 銀行の為替(決済)業務と日銀当座預金



10

## 中央銀行と民間銀行の関係



8

## 3-3-2 ハイワード・マネーとは

High-Powered-Money (H) :  
(「マネタリー・ベース」「ベース・マネー」ともよばれる)

$H = \text{現金} + \text{日銀当座預金}$

( = 現金(C) + 預金通貨銀行の広義の「準備」(R) )

民間銀行は、このハイワードマネーをもとに、貸し出しを通じて新たな預金の創造(信用創造)を行う。

11

## 補足: 預金準備率制度

民間の銀行は、日々の現金引き出しに備えて、獲得した預金の一定割合を支払準備として保有する。その割合を**預金準備率(支払準備率)**とよぶ。

預金準備率は法律で定められた水準(**法定準備率**)を下回ってはならない。

中央銀行がこの水準を変更して、銀行の貸出額を調節することがある(**法定準備率操作**)。

9

## 3-3-2 信用創造のメカニズム

中央銀行がH(C + R)を銀行Aに対して供給

一部の準備を除き、銀行Aは貸し出す

銀行Bの預金が増加

一部の準備を除き、銀行Bは貸し出す

銀行Cの預金が増加

…以下、繰り返し

経済全体で見ると、当初のHに加えて、銀行の預金(将来の現金支払いが約束された通貨)Dが新たに創造され、乗数効果を生み出している。

12

### 3-3-2 通貨乗数

$$\text{支払準備率} = \frac{R}{D} = \beta \quad \text{現金・預金比率} = \frac{CU}{D} = \theta$$

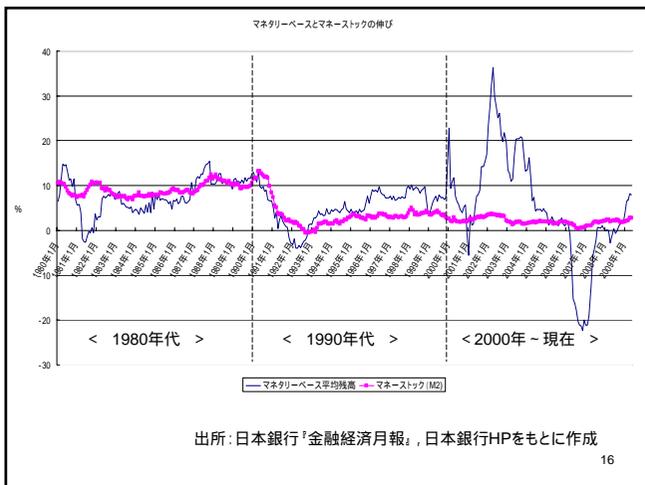
とする。このとき、通貨乗数を  $\alpha$  とすると

$$\alpha = \frac{M}{H} = \frac{CU + D}{CU + R} = \frac{\frac{CU}{D} + \frac{D}{D}}{\frac{CU}{D} + \frac{R}{D}}$$

$$= \frac{\beta + 1}{\beta + \theta} \quad (0 < \beta < 1, 0 < \theta < 1)$$

と表すことができる。

13



### 3-3-3 中央銀行の金融政策

#### 中央銀行 (Central Bank)

「通貨当局」(政府や財務省も含む?)

前提：金融システムの安定化

ブルーデンス政策, LLR

目標：物価や実体経済の安定化

物価安定

景気安定化

対外均衡

持続的経済成長 など

14

### 3-3-3 ハイパワードマネー調節の手段

主要な政策手段 (p.38 ~ 39)

<1> 基準金利操作 (公定歩合操作)

<2> 公開市場操作

<3> 法定準備率操作

現在、公定歩合は政策誘導目標としての役割をもたなくなっている。また預金準備率の操作はそれほど頻繁に実施される政策ではない。

現在わが国では、日々の金融調節の手段として債券や手形の公開市場操作が実施されている。

15